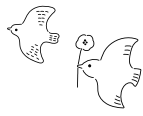


偶数月月に1回、「抱樸館を支える会」会員の方にお届けしています

抱樸館を支える会 会報



2024.

2月
vol.63

2024年2月1日発行:抱樸館を支える会

生活困窮者支援の

年末年始

抱樸館とつながりのある各地のホームレス支援団体は、この年末年始も様々なイベントや取り組みを行いました。その活動の様子をご紹介します。



社会福祉法人グリーンコープ 抱樸館福岡より

抱樸館福岡では毎年恒例の大掃除を今年も年末に行いました。入居者と職員が一斉に、日頃行き届かない場所も含めて、汗をかきながら(気温が高い日でした)心を込めてキレイに掃除することができました。

大晦日は、昼食に年越しそば、夕食にすき焼きを提供し、通常は22時に消灯となりますが、年越しするまでという入居者の希望により0時過ぎまでテレビを観てもらいました。

元旦午前中には、入居者と卒業生と一緒に近くの神社に初詣に行き、今年こそはご利益がありますようにとお願いしてきました。

午後からは、数年ぶりにカラオケや卓球を開催しました。歌手も顔負けするほど唄が上手な入居者、面白おかしく歌う入居者、卓球部だったといっても数十年前のことで空振りする人、とっても楽しい時間を過ごせました。

抱樸館福岡では、コロナ禍が明け入館制限を解除しました。以前行っていたカフェさんぽみちも月1回開催しています。これから他のイベントを開催していけるように計画中です。

心もからだも温まる抱樸館のおせち



元日の昼食は待ちに待ったお雑煮とお刺身です。厨房のスタッフが前日からの仕込み、当日早朝からの調理で、家庭で食べる味をそのままに提供しました。



厨房スタッフ
蛭子主任

メーカーさんから数の子やお餅、お刺身を提供いただいています。お正月は1年の始まりですから、家庭の雰囲気を味わっていただきたいと思っています。



厨房スタッフ
山村さん

年末年始は、過ぎゆく今年に「ありがとう」を込めて、年越しそば。来る新年には「今年もよろしく」という願いを込めました。

入居者の方に聞きました

抱樸館のお正月
どうでしたか?

Sさん

抱樸館で過ごすお正月は最高です。10年振りにカラオケをして楽しかったです。若いころは、スナックでよく歌っていました。おせちは全部おいしかったし、お刺身もおいしかったです。



Iさん

初詣に行きました。今年1年ケガなくすごせるようにとお祈りました。卓球は、うまくはないのですが、楽しめました。おせちもおいしかったです。



社会福祉法人グリーンコープ
抱樸館熊本より

コロナ禍の行動制限がなくなり、今年はやっといつもの景色の正月が訪れたように感じています。今回、抱樸館熊本では大晦日に年越しそば、元日は雑煮を提供しました。また11日(鏡開き)にはぜんざいを提供しました。入居者のお一人からは「ここ何年も正月らしいことは何もできていなかった。暖かい部屋と正月ならではの食事と本当にありがたいです」などとお声をいただきました。

昨年10月にはコロナ禍後、2回目となる卒業生との交流会を開催しました。コロナ禍の制限もなくなりピンゴゲームや輪投げ、冬物衣類・食糧品等の配布、弁当にての会食等行き充実した内容となりました。卒業生の皆さんの笑顔を見ることができ大変良かったと思います。卒業生18名の参加でした。

このところの物価高等、困窮者を取り巻く状況は厳しさを増しているように感じています。それらを踏まえ、これまでの取り組みは継続することに加え、新たに何が出来るかを模索しながら今年も進んでいきたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



NPO法人
美野島めぐみの家より

2023年は来場者がジワジワと増え、100人を超え120人以上のこともありました。

そこで、ボランティア募集を再開し、スタッフを増やした体制をとりました。それにより、多方面からの食材提供もあり、毎回、炊き出しに追加して持ち帰りの弁当も用意できました。年末の炊き出しには、来場者110名と例年より多くの方が来られました。そして、コロナ禍で中止していた対面でのクリスマス礼拝を4年ぶりに再開し、神父様のお話、賛美歌合唱ができました。メニューは、年に一度の牛丼、天ぷらの煮物、白菜漬、柚子大根、お吸い物、そしてデザートはNPO法人エンジェルアシストからいただいたクレープ、フードバンク福岡提供のみかん、バナナ、柿でした。クリスマスプレゼントは靴下、カイロ、チョコレート菓子、みかん(野宿のかたには手袋、カップ麺)を用意しました。

新年は1月9日が最初の炊き出し日でしたが、正月らしく、赤飯、がめ煮、紅白なます、天ぷらの煮物、お吸い物、白菜漬、柚子大根を提供しました。



NPO法人 抱樸より

2024年1月3日、雨の降る中で新年の炊き出しを行いました。この半年で新たにお名前の加わった方はおられませんでした。これまで路上で亡くなった方々に想いをはせる追悼集会から開始しました。冒頭では、年始の能登地震で被災された方々、ガザやウクライナでの戦争被害者の方々を覚えての黙とうが行われ、その後路上で亡くなった方々へ花束を供え、奥田理事長の掛け声により全員で再度黙とうを捧げ、ホームレスを生まない社会の実現へ思いを新たにしました。

奥田理事長からは「おめでたいという言葉は『愛でる』』という意味である。新年早々の暗いニュースで皆が不安や悲しみに包まれ『新年おめでとう』とは言い難い状況かもしれない、しかしそんな時だからこそお互いに愛するという事、お互いを大事にするという事を確認し、宣言するためにもみんなで新年を祝いましょう。あけましておめでとうございます」とあいさつがありました。

その後、子ども越冬隊によるぜんざいや、ゴーイングホームトリオのチャリティライブ、じゃんけん大会などの楽しいひと時を持つことが出来ました。炊き出しの最中には小倉魚町銀天街での火災が発生し、とても心配な状況となりました。書き初め大会では「誰かの為にみんなが幸せになるように」と互いをいたわり合う気持ちが込められた言葉が書かれ、人のあたたかさを感じました。

これ以上の悲しいニュースが起きないことを願ひ、「きぼうのまち」の実現に向けて歩みを進められるようにと、みんなの気持ちを合わせた新年炊き出しとなりました。



NPO法人
岡山きずなより

この年末年始もお弁当をお配りする活動を活動拠点である安楽亭にて行い、たくさんのボランティアさんと共に、連日70名程度の方をお迎えしました。

普段利用される方だけでなく、お母さんとお子さんなどのご利用もあり、庭では寄付でいただいたモノの無料バザーを行ったりと、いつもよりにぎやかな安楽亭となりました。

コロナ禍によりお弁当の配布に切り替えた活動ですが、今年は食堂型を再開し、ただ前の活動に戻るのではなく、「安楽亭食堂」として新たなものを生み出せたら、と考えています。

本年もきずなの活動をどうぞよろしくお願ひいたします。



長崎ホームレスを支援する会より

「長崎ホームレスを支援する会」では、2023年末も恒例の「年末居宅訪問」を実施しました。今年は27人の方に年越し用品をお届けしました。年越し用の食品としては、餅、かまぼこ、黒豆などを購入。それ以外では、グリーンコープより提供いただいた、素麺、どんこ椎茸、ゼリーなどを、日常で召し上がっていただくためにお渡ししました。また、レデンプトリスチン修道院に作っていただいたクッキーもお渡ししました。

お届けする方には、日頃の弁当配布にいられている方もいらっしゃいますが、多くは日常的な交流はない方が多い(以前支援を受けていた方など)ため、年に一回訪問し、直接お会いすることで、近況を確認する意味がこの活動にはあります。

中には、不在で電話も不通になってしまっている方もいましたが、ほとんどの方には直接お会いすることができ、留守中にお届けし、後から電話をいただいた方もいらっしゃいました。

皆様、大変楽しみにされている行事なので、来年以降も可能な限り多くの方にお届けしたいと思います。



NPO法人
久留米
越冬活動の会より

毎年12月の第2火曜日に「越冬突入炊出」を行っています。今年も9日に「こがしら小頭町公園」で18時30分から開催しました。冒頭、今年お亡くなりになられた方々へ黙とうを捧げました。メニューは各教会の皆様で作っていただいた、おでん・野菜炒め・ラーメン・お菓子など。いつもより量も種類も多い料理を、お見えになった39人の方に提供しましたが、暫くお休みしていた公園での食事、楽しんでいただけたでしょうか。

また食事の間、牧師のギター伴奏による歌声が絶え間なく流れ、飛び入りも出たりして盛り上がりました。炊き出しはこの後26日に「こがしら正宗大谷派を支える会」の皆様準備していただいた「味ご飯と豚汁」を43人の方に食していただきました。新年は1月9日に「年明け炊出」としてお正月らしい食事を楽しんでいただきました。

夜回りは毎週火曜日に巡回しています。野宿者の数は減りましたが、まだ私たちの目の届かない所に形を変えて何人もおられます。



NPO法人
福岡おにぎりの会より

2023年12月22日、本年最終日の「炊き出し夜回り」には140名の方が来られ、ボランティアが丹精込めて調理したクリームシチューを召し上がりました。今年は暖冬と言われながらも、前日には雪も舞う寒さのため、多くの方が「体が温まる、とってもおいしい」と話されながら召し上がっていました。

コロナ禍以降、炊き出し夜回りに来られる方が増加し、多い日は150名近くの方におにぎりや日用品の提供を行っています。増えた方々の大半が生活困窮者や生活保護の方で、昔と違い現在では全体の6割以上が家のある方となっています。しかし、家があるというだけでは満たされず「孤独感」を抱えていたり、家計を維持することが難しかったり、仕事をクビになったり、家族の暴力から逃げてきたり、刑務所から出て来て帰るところが無かったりと様々な事情を抱えた方々が夜回りに集まります。彼ら一人ひとりの声を聴き、安心できる関係の中で共に「ありたい自分」を目指してもらい、その出発点になるのが「炊き出し夜回り」です。

2024年も彼らの「こころ」と「体」を休める場所として、この活動を続けていきます。



NPO法人
かごしま
ホームレス生活者
支えあう会より

例年通り大晦日は昼12時より教育会館の施設を借り、越冬炊き出しを開催しました。

支援団体だけでなく、市内の有志の方たちが中心となつての活動であり、調理などはボランティアの方たちが行い、「支えあう会」は過去に支援した方への告知や路上生活の方への呼びかけをすることで協力しています。

当日は昼前から参加者の方たちが集まりだし、ほぼ満席の状態が続き、参加者やスタッフの交流も活発に行われました。普段はあまり連絡が取れない方も姿を見ることが多く、近況を伺う貴重な時間となっています。当日の料理は年越しそばをメインとして、果物や汁粉、サラダ、おにぎりなども提供しています。

元旦も、同様に開催し、お雑煮をメインに提供しました。両日とも好天に恵まれただけでなく、コロナの感染対策が緩和されたことも影響してか、知人に連絡を取り合っ一緒に参加される姿が普段より多かったように感じられました。



つながる・支える ほうぼくかん 抱樸館福岡マップ

1 グリーンコープ連合会 ・青果リパックセンター ・店舗センター

就労訓練を経てアルバイト
雇用された方が多数います。



2 グリーンコープ生協ふくおか 福岡東支部

入居者や卒業生が就
労体験で、配送トラッ
クの回収物の整理作
業をしています。



3 社会福祉法人グリーンコープ ふくしセンター多の津

生活訓練・就労継続B型作業
所、訪問介護事業所と連携して
います。



4 社会福祉法人グリーンコープ たのつ・りすっこ保育園

抱樸館福岡の隣にあり
ます。子どもたちと一緒
に、抱樸館福岡の畑で芋
ほりを行っています。



抱樸館に最も近いA型
共同作業所。入居者や卒
業生が通っています。

多の津4丁目

ステップ
ワーク

3 社会福祉法人グリーンコープ ふくしセンター 多の津

4 社会福祉法人グリーンコープ たのつ・りすっこ 保育園

5 社会福祉法人グリーンコープ 抱樸館福岡

入居者がお世話に
なっている
歯医者さん。

森歯科

津屋本町
バス停

多の津5丁目

抱樸館から一番近い
バス停が津屋本町で
す。

熊野神社

ほっとやすらげる
みんなの居場所。

抱樸館福岡は
JR 須原駅より徒歩
約20分です。

JR 篠栗線

JR 須原駅

コーヒー豆の選別など作業工程
の中に就労訓練を組み込んで、生き
づらさを抱えた方たちの伴走支援
をしています。

5 社会福祉法人グリーンコープ 抱樸館福岡

生活困窮者のための自立支援施設。生活
困窮者の「ハウス(家)」であるだけでは
なく「ホーム(心のよりどころ)」になるこ
とを願って、再び地域で自立した生活が
できるように支援しています。
春には地域から寄贈していただいた16
本の桜が見ごろになります。

抱樸館HPは
こちら



ボランティアで地域の
清掃をしています。



抱樸館福岡では、支援プログラ
ムの一つとして、地域の清掃ボラ
ンティア活動などを行っています。

7 社会福祉法人グリーンコープ ファイバーリサイクルセンター

自立支援の一環とし
て就労訓練を行って
いる重要な連携先。
多くの入居者が就労
訓練を経て地域で自
立しています。



6 グリーンコープ連合会 福岡物流センター

生産者やメーカー
から抱樸館福岡へ
の支援物資もここ
へ届きます。



箱崎

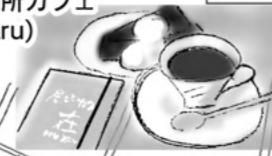


ファイバーリサイ
クルショップ箱崎

ファイバーリサイ
クルセンターで仕分けさ
れた衣類や小物を販売し
ています。
キープ&ショップはこ
さぎも併設。

箱崎宮前

居場所カフェ
在(aru)



焙煎工房
はこまめ屋

長者原

ステップアップ
多機能型事業所



多くの抱樸館卒業
生が通っています。

JR 長者原駅

抱樸館だより

2023年12月号より

過去の投稿・記事全文はこちら⇒

月に一度、抱樸館福岡のスタッフが、館内の取り組みや地域行事への参加の様子などをホームページでお知らせしています。ぜひご覧ください！



福岡女学院看護大学 ボランティアサークル葡萄 顧問

酒井先生より メッセージを頂きました

福岡女学院大学の看護生が、健康相談会を開催しています。



2010年3月、初めて抱樸館へ伺いました。「生活困窮者のための自立支援施設」と言っても、実際、見たことも聞いたこともない私たちは、興味津々で、当時、館長をしていらっしやった青木さんのお話に聞き入りました。日本の経済発展の裏側や現行の社会保障制度、生活困窮者の現状など様々な角度からお話いただき、何もせずにはいられない焦燥感のようなものを感じたのを今でも覚えています。

だくようになりました。きずな祭では、骨密度計や体組成計を大学から搬入し、健康測定会を開催させていただいたこともあります。また、看護学生が発案し、健康学習会や料理教室などを入館者や退館者の方々と一緒に楽しめる時間をいただくこともありました。気づいたら、私たちがの方が、抱樸館スタッフの方々や入居者・退居者の方々に教えられたり励まされることが多く、いただいたご縁はすべて宝物です。

それが形になったのが、2011年から始まった「福岡女学院看護大学の学生と教員による健康相談会」です。月1回のペースではありますが、心や身体に関する心配事やお悩み事を聴かせていただき、解決の糸口を一緒に考える機会をいた

2020年度から約3年間はコロナ禍で休止しておりましたが、2023年11月から再開させていただきました。いつも、ご理解ご協力をいただいている抱樸館福岡の皆様には心から感謝申し上げますとともに、どうぞこれからもよろしくお願いいたします。

えにしの会のイベントがありました

11月25日に津屋本町公民館でえにしの会による食事会を行いました。職員も含め、17名が参加しました。



食事会では、抱樸館の厨房スタッフが作った豪華なお弁当をワイワイガヤガヤ会話をしながら頂き、公民館で穏やかな時間を過ごすことができました。



卒業生の近況報告、悩み、過去の栄光などなど久しぶりの再会をみんなで分かち合うことができました。卒業生の皆さんは一人暮らしの方がほとんどで、誰かと話したり、食事をとる機会を提供できてよかったと思います。

この1年余り、コロナ禍でイベントができなかったため、定期的にイベントができるように計画をしています。

食事をした後は参加可能なメンバーで共同墓地「絆」に出かけました。少し肌寒かったですが、仲間を悼み皆で献花しお参りました。

えにしの会とは抱樸館福岡卒業生によるグループです。抱樸館福岡で催されるプログラムや催しに参加し、交流を深めています。えにしの会に入っていない方も参加できるものもありますので、随時お知らせしていきます。



「抱樸館を支える会」の会費は、子どもたちへの支援にも活かされています。

みんなの居場所

居場所作り11月 月次報告書より

グリーンコープは子どもたちや地域の皆さんが安心して過ごせる居場所づくりをしています。子どもたちが気軽に立ち寄って遊んだり、宿題をしたり自由に過ごせる場所です。おとなも一緒に過ごせます。

熊本

田崎げんきもりもりハウス

11/1 古町保育園芋掘り遠足。保護者と芋掘りを楽しんだ後、室内で親子一緒に昼食をとりました。

11/11 子ども食堂では、畑の芋を使い、さつまいもの炊き込みご飯、豚汁、野菜の浅漬け、ミンチボール、ゼリーを準備しました。組合員さんがボランティアで午前中から手伝ってくれました。



芋掘りを楽しんだあとのお弁当は美味し〜い



おいしい食事ができました！



庭の渋柿を干し柿に

福岡

日明げんきもりもりハウス

北九州ケーブルテレビの取材を受けました！

11/30 地域の方と一緒にごはんを食べる交流会をしました。「子ども料理教室」で覚えた「ミルク餅」を子どもたちが手作りました。食事前に体を動かすゲームと腹話術を楽しんで会食へ。おとなもゲームに参加して、和やかな会になりました。



・鰻、フグのフライ
・切干大根と厚揚げの煮物
・白和え・サラダ・ミルクもちなど



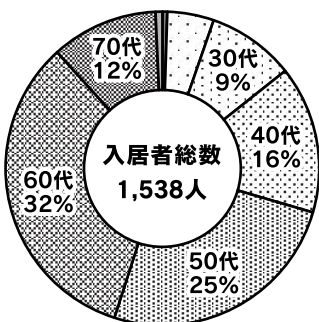
地域から参加して下さった方の感想(アンケートより)

- ・食事もおいしかったが、何より子どもたちの笑顔が良かった
- ・腹話術やじゃんけんゲーム等、子どもたちを愛する熱い真心を感じ感動しました。
- ・子どもたちと接するよろこびを感じました。
- ・食事バランスが良くて、すべて美味しく最高でした！

8月に開催された子ども料理教室に参加した子どもたちが「ミルク餅」づくりに挑戦中！

抱樸館福岡の入居・退居などの状況

開所から2023年12月末までの入居者数



	人数	割合
10代	11	0.7%
20代	90	5.9%
30代	131	8.5%
40代	238	15.5%
50代	384	25.0%
60代	490	31.9%
70代	180	11.7%
80代	14	0.9%
計	1,538	100%

2023年12月末現在の入居者

57名(定員81名) 男性56名、女性1名

2023年11～12月の新入居者数・退居者数

新入居者数10名 退居者数16名

(注:12月末までの入居者数1,538名は、2度、3度入居した人も1名と数えています)

抱樸館北九州の入退居の状況は、特集の際にご案内します。

抱樸館を支える会の概要

抱樸館を支える会の目的

以下の事業・活動を目的としています。

- ◇ホームレス者支援事業
- ◇抱樸館に関する広報活動及び資金援助活動
- ◇これらに附帯又は関連する事業

設立年月日 抱樸館福岡が2010年5月に開設されるのにあわせて同年4月10日に設立

正会員 以下の18団体が正会員です。
グリーンコープの各単協(15生協)
グリーンコープ連合会
NPO法人 抱樸(旧:北九州ホームレス支援機構)
社会福祉法人グリーンコープ

賛助会員 2023年12月末の賛助会員は、以下の通り
グリーンコープの共同購入組合員 11,204名
グリーンコープの店舗組合員・一般の方 152名
企業賛助会員 99社

その他(抱樸館の所在地)

抱樸館福岡(福岡市東区) 2010年5月開所
抱樸館北九州(北九州市八幡東区) 2013年9月開所
抱樸館下関:新たに開設を検討中
抱樸館熊本(熊本市中央区) 2018年12月開所

抱樸館福岡に 来てみませんか?

「地域に開かれた場所として、多くの方に知っていただきたい」
そんな思いから抱樸館福岡の見学を随時受け付けています。

●見学を希望される方(一般)は、
次の手順でお申込みください。

- ①抱樸館福岡にお電話ください。
☎092-624-7771
- ②申込みフォームに必要事項を記入の上、送信してください。
(申込みフォームは右のQRコードからアクセスしてください)

見学申込
フォーム



●グリーンコープ生協の組合員で見学を希望される
方は、所属生協を通じてお申し込みください。

●見学の申込について

実施日 月～金(祝日を除く)
所要時間 11:30～13:00(相談可)
費用 1000円/1人(昼食費・見学料)
定員 20人/1日

申込み締め切り 希望日の2週間前まで

※日程の変更をお願いする場合があります。
※就学前のお子さまは、昼食を各自でご持参ください。(見学費用はいただきません)。事故等がないよう、同伴の方が注意を払っていただくようお願い申し上げます。

出前講座も受け付けています♪

ホームレス問題を身近に感じていただきたいという趣旨で「どのような人がホームレスとなっているのか?」「子どもたちにホームレス問題をどう話していますか?」などのお話をします。

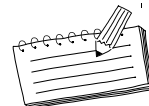
例えばこんな時に

- ・子ども会や学童保育の集まり ・地域の集まり
- ・学校の人権学習会などにも伺います

費用:交通費(実費)・謝金(応相談)

まずはお気軽にお問い合わせください

☎092-624-7771(担当青木)



抱樸館を支える会 賛助会員・企業賛助会員 募集中!

◇一般の方、グリーンコープの店舗組合員

1口1,000円の賛助会費を何口でも申込み出来ます。

郵便振替でお願いします。

郵便振替 01710-0-123003

一般社団法人 抱樸館を支える会

◇企業賛助会員 募集中です

企業賛助会員は、会費が1口10,000円です。出来れば3口(30,000円)以上でお願いします。申込みは、右記へ。

「抱樸館を支える会」事務局

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号

社会福祉法人グリーンコープ内

電話 092-482-1964

抱樸館の連絡先

抱樸館福岡 (電話 092-624-7771 FAX 092-624-7772)
〒813-0034 福岡市東区多の津5丁目5-8

抱樸館北九州 (電話 093-883-7708 FAX 093-883-7705)
〒805-0027 北九州市八幡東区東鉄町7-11

抱樸館熊本 (電話 096-245-7521 FAX 096-245-7522)
〒860-0811 熊本市中央区本荘